



2018年9月14日

各位

上場会社名 黒谷株式会社  
 代表者 代表取締役社長 黒谷 純久  
 (コード番号 3168 東証一部)  
 問合せ先責任者 代表取締役副社長 井上 亮一  
 (TEL 0766-84-0001)

## 2018年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年9月14日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2018年1月15日に公表いたしました2018年8月期(2017年9月1日～2018年8月31日)の連結業績予想数値を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2018年8月期通期連結業績予想の修正(2017年9月1日～2018年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 54,034	百万円 1,575	百万円 1,513	百万円 955	円 銭 66.66
今回修正予想(B)	56,791	688	620	421	29.36
増減額(B-A)	2,757	△887	△893	△534	
増減率(%)	5.1%	△56.3%	△59.0%	△55.9%	
(ご参考)前期実績 (2017年8月期)	52,868	2,099	1,678	1,037	144.68

## 2. 修正の理由

第3四半期までは、米国経済を中心に世界経済は良好に推移したことから、当社グループの主力取扱商品価格に影響を及ぼす銅価格も堅調な動きとなり、当社業績も底堅い結果となりました。しかしながら、第4四半期に入り、米中を始めとしてEU、カナダ、メキシコとの貿易摩擦等、懸念されていた米国の保護主義の動きが顕著になり、また、米国の利上げに端を発した新興国経済の不安定化等、世界経済への先行き警戒感が強まり、ロンドン金属取引所銅3カ月先物価格で年初来高値7,348ドルを付けた後、約2カ月間(6月中旬から8月中旬)で5,700ドル台まで21.4%の急落となり当社を取り巻く外部環境は急変いたしました。【第4四半期実績 LME銅Cash価格:6,414ドル(当初予算比:-5.7%)、ドル/円レート:110.83円(同:+0.8%)、円ベース価格:710.68円(同:-5.0%)】。

この結果、第4四半期においては、販売数量では9.0%、売上高でも10.0%計画を上回ったものの在庫価格や月中仕入価格は相場下落の売り惜しみから流通量が減少し、国内需給がタイト化したことにより、仕入価格の上昇から利鞘が大幅に悪化したため売上総利益が計画を下回り、営業利益で△690百万円、経常利益で△706百万円となる見込みです。通期においても、スクラップを中心に販売数量は予算を3.6%上回る結果となりましたが、利益に関しましては、予算を大幅に下回る結果となりました。

なお、今後も今回公表の業績予想との対比において業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに修正業績予想の開示を行うことといたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上